

最優秀賞

一般建築物の部

～宇宙・地球・地域・仕事場を貫く企業理念を実現化した
まったく新しい働く場の創造～

ZOZO本社屋

建築主：株式会社ZOZO

設計：中村拓志 & NAP建築設計事務所

株式会社 竹中工務店

施工：株式会社 竹中工務店

所在地：千葉市稲毛区緑町1-15-16



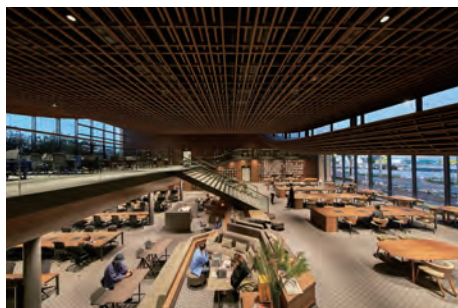
街と企業が共存し新しい価値を創り出す

JR総武線稲毛駅と西千葉駅の中間に新築され、斬新な概念が充満したオフィスビル(建築面積:1,388㎡、延床面積:3,621㎡、地上2階、地下1階)である。その立地特性に従い、「想像と創造が行き交う街、西千葉」がテーマに掲げられた。そして、多様な「領域型オフィス」の実現を目指し、企業と街の繋がりや連続感の創出にこだわった仕事場づくりの姿勢が訴求された。

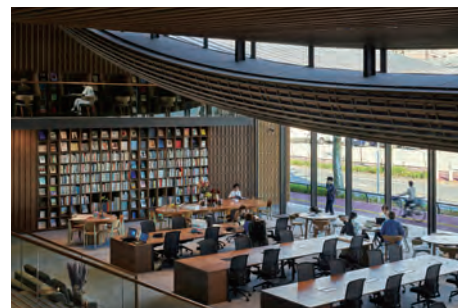
ガラス面で南北方向に大きく解放され、最長約30mの3枚からなる半剛性吊り構造屋根によって、布で包み込まれたような印象的なスキップフロアの大執務空間が生み出された。その中には大机から個室、地下の大小会議室まで自由に選択できる様々な作業場が設けられている。そしてこの屋根と壁を平面的、断面的にずらすことによって、しなやかで躍動感溢れる空間構成が生まれた。道路沿いの皮下には内外同じレベルに執務空間が並び、街との連続感がデザインされている。さ

らに、社屋の前に設けられた広場を起点として、地域の人々に関わり合える様々な活動の関係性が見られる。細い木材を編み込んだ布のような屋根と壁が、働く人々を柔かく包み込み、建築自体が企業の求める着心地の良いアパレルのようだ。さらに、そこかしこに掲示・設置された若手による多数のアート作品は、働き手自らが選び取り、仕事の空間に彩を添えている。

以上の構成の全てが、ユニークかつ魅力的でイノベーションに満ちた仕事場を生み出している。その結果、時代の先取りをした建築文化の実践事例として最優秀賞の高い評価を得た。
(岩村 和夫)



ひとつ屋根の下でともに働く一体感を生み出す架構計画



街と繋がる領域型オフィス

(撮影全て/TOREAL 藤井浩司)